

二二一

東京交通界聯合組合
青山山支部

八 日午後二時に考る五日提出せし再嘆願の回答を聞くへ、主腦部を先頭に首尊し百五十名は警網を蹴破つて本局、山下理事室へ奔り入る。そこで主腦部そにて回答を迫つた。
ところが山下理事はフルーツとフルエヌ上スマスの大勢では回答は出来ぬとの事、應急電話で警
察へかけられ、警署とフルーツの總務多くは、午後七時頃市會議員の（堺氏中島氏、馬場氏、
阿部氏）四氏等、引受けに来て昇殿したので、三階廊を越へて、今後、問題に對しては連携議員は今
後、問題に對しては、懇親！一文題に對し同一行動を取つて戦ふ事と誓うと昇殿した。

別言記

親愛的各支那同志諸君

絶する途邊の先頭に起つて勇敢に大家の利益を擁護して其の歴史的なる勞働者に何時も和氣藪と
遊言家がづらになつて前と多くして誠にようじだくらんふる語名は知てゐるだらう。浅松此文部下毛威
の婦人部の日本を四名と實本筋に屬すと云ひて之を貼つたと云ひて引取つて行かれだ二どそ……
同志諸君!! 之を放てがほんう。大東だ。既に震電局は合理化政策ヲヤリ玉にあつまつて——くるる後邊は
大眾的による前衛の奮還運動を揚々起つた連時、産業會議懇談會を開いて大家運動を捲き起せ
浜松府大部青年婦人部
一九三〇年五月八日

別記

指令一下即時行動／一

争議中を出勤にするまで一步も引く本
道を取消すまへ断然闘へ！

東京交通勞傷組合
會議會行委員會

日服後は斧傷者、勝利した。

卷之二十一

今大部共再燃，一大斗争

六日間、盆會で一時は元氣が抜けたが、如き見

萬歳臺に及て及擇せら水で從業員ヲ再起

別記
十)



第三十一號
六月七日發行